

令和3年度 学校経営方針

京都市立北総合支援学校 校長

1 教育理念

本校は、平成16年に成逸小学校（上京2番組小学校）の跡地に開設された地域に根差した地域の学校である。敷地内には成逸老人ディサービスセンター、成逸消防団や自治会館が設置され、地域との共有スペースもある都市型複合型の施設である。この環境を最大限に生かし、よりよい学校教育を通じてよりよい社会と豊かな人生の創り手として子どもを育てていくという理念を実現する。

今日、グローバル化や先端技術の高度化が加速的に進み、将来の予測が困難な時代を迎えている。また、家庭の経済状況から生じる困り、子どもの安全確保、教職員の多忙化など、教育環境に関わる課題は多様化・複雑化している。このような時代を生き抜くために、学校教育を通して、生きて働く「知識・技能」の定着、「課題を見つけ解決する力」「夢や希望を創り上げる力」を培い、生涯にわたり学び続け、自分らしい生き方を追求する子どもを育成する。そして、一人一人の子どもが、「どのように学び、何ができるようになったか」「理解しできるようになったことをどう使うか」を適切に評価する。

個別の包括支援プランを活用し、

1. 子どもを「できる存在」として捉え、できる姿を通して「生きる力」を育む
2. 地域社会と協働して、社会に生きる子どもを育む
3. 自立と社会参加の実現に向けた生活態度や規範意識を育む

ことを実践するとともに、自分を大切に、他者とともに生きる喜びを実感し、豊かな人間性と創造力を育めるよう、学校生活全体を通して道徳性の涵養に努め、子どものいのちと人権を徹底的に守り、子どもと保護者によりそう学校運営を行う。

2 学校教育目標

自分から、自分で、自分らしく、みんなとともに、学び合う子どもの育成
(主体的) (自立) (自己の確立) (社会性・協調性) (創造力)

3 めざす児童生徒像

<授業づくりにおける重点的取組>

- ◆健やかな身体をつくる 生活リズムの確立、健康管理、衛生や安全への意識
運動やスポーツの実践と体力の向上、食生活
- ◆元気にあいさつをする 挨拶、基本的な生活習慣の確立、自ら律する力の育成
- ◆考え、工夫し、生き生きと表現する 探究活動や発展的な活動による自己表現力、問題解決力の育成
- ◆願いや夢を持って心豊かに生きる 社会との接続やつながりを実感できる授業への改善
自己調整力、自尊心、感謝する心等道徳性の育成
伝統文化や芸術を通じ、豊かな感性や情操を育む
余暇活動につながる取組の充実
- ◆役割を担い、役に立とうとする 小学部段階からの系統的なキャリア教育の推進
- ◆他者とともに生き、学び合う 児童生徒会活動、学校行事等による協力する態度、
支え合い高め合う集団づくり

4 今年度の取組の重点

(1) 社会に開かれた教育課程の充実

- ① 社会に開かれた教育課程の下、意図的なカリキュラム・マネジメントを実践する
・児童生徒が身に着けるべき資質・能力や学ぶべき内容などをわかりやすく示す
・各学部、各段階、小・中学校等とのつながり等を留意し、学びの連続性を重視する
・家庭、地域と同じ方向性を持ち（カリキュラムを共有する）、地域の教育力を生かした学習を展開する
- ② 地域と連携した伝統文化教育、環境教育、体験的活動、探究的な学習等、地域力、文化力を生かした学びの実践と、地域社会とのつながりを意識した教育活動を行う
- ③ 日々のHP更新、参観や広報活動の充実を図り、学校教育活動の情報発信と説明責任を適切に実行する
- ④ PTA、学校運営協議会の参画の下、学校評価システムを適切に機能させ、結果分析をカリキュラム・マネジメントに反映させる
- ⑤ 教職員一人一人が持てる専門性を最大限に発揮し、働きがいを感じることができる組織づくりをめざす

(2) 未来社会を見据え、子どもの生きる力を育む授業の創造

- ① 個別の包括支援プランの活用を核として、子どもの生きる力を育む指導と支援を実践する
- ② 「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向う力、人間性等」の観点を踏まえた目標設定と評価を行う
- ③ 一人一人の児童生徒の可能性を広げ、日常的・主体的・効果的な学びを進めることができるよう、教職員一人一人がICTの指導力の向上を図る
- ④ 他者への自発的な働きかけや発信を促すためのICT活用等、児童生徒の状況に応じた様々な活用の方法をさぐり、適切かつ有効にICTを活用する
- ⑤ 授業者主体の授業研究会の実施と、ニーズに応じた研修会や学習会の充実を図る

(3) 様々な危機に対応し、持続・発展し続ける取組の推進

- ① 感染症に対する正しい理解と基本的な感染予防対策を徹底し、子どもが感染のリスクを理解し、それを踏まえた行動がとれるよう、教育活動において組織的・計画的に取り組む
- ② 地域と協働した防災訓練や防災教育に取り組む
- ③ 緊急時の保護者への連絡体制を整え、迅速かつ的確な情報収集と発信を徹底する
- ④ 無駄を省き、物を大切に扱い、積極的に環境美化活動に取り組む
- ⑤ 教職員一人一人が人権に対する意識を高く持ち、風通しの良い職場づくりに努める

(4) 地域との協働・連携、地域支援の取組の推進

- ① 保護者、学校、福祉、行政、医療等の関係機関との連携を深め、適切な支援体制を構築し、状況や課題の把握と迅速な対応を行う
- ② 地域での貢献活動、協働活動、実習等、自立と社会参加につながる取組を推進し、子どもの意欲を高め主体的な姿を引出す
- ③ 周囲の人との信頼関係を築き、生涯を通じて社会や地域とかわり、豊かな生活を営むことができるよう、スポーツや文化芸術活動に親しむ取組の充実を図る
- ④ 育支援センターによる相談・支援業務を推進と、積極的な情報の発信を行う